

薬剤部(科)長・薬局長 殿
会員各位

一般社団法人 滋賀県病院薬剤師会
会長 寺田 智祐
学術部部長 寺田 智祐

2019年度 学術委員会 秋のセミナーのご案内

拝啓

平素は学術委員会の活動に対してご理解とご協力賜り厚く御礼申し上げます。
さて、今年度も学術委員会主催のセミナーを下記の日程で開催することとなりましたのでご案内申し上げます。
会員相互の交流も目的の一つとなっておりますので、奮ってご参加していただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

高齢者の栄養トータルマネジメント（仮）

日時 令和元年 12月 7日（土）（受付 11:45）

セミナー 12:30～17:00 懇親会 17:20～19:30

場所 ◎ セミナー会場 **G-NETしが** 滋賀県近江八幡市鷹飼町 80-4（駐車場有）
Tel 0748-37-3751 JR 近江八幡駅 南口より 500m 徒歩 10分、
または 南口から近江バス『男女共同参画センター前』下車

◎ 懇親会会場 **ビステッカ** 滋賀県近江八幡市鷹飼町 526-1
近江牛&新鮮魚介のグリル&ピッツアのお店です。ブッフエスタイルで開催します。
Tel 0748-31-3266 JR 近江八幡駅 北口より 250m 徒歩4分、

参加費 セミナーのみ **1,000円** セミナー・懇親会通し **2,000円**

申込方法 施設毎に取りまとめて、添付の EXCEL ファイルの申込書に記入の上、
下記アドレス宛にお送りいただきますようよろしくお願いいたします。

申込先 大津赤十字病院 薬剤部 上田 豊実 E-Mail: ueda.otsu.jrc@gmail.com

申込締切 **11月15日(金)**

その他 ◎ 当日は、ご参加いただいたことの確認のため、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。ご記帳いただいたご施設名・ご芳名は、医薬品適正使用情報および医学・薬学に関する情報の提供のために利用させていただきます。

◎ 懇親会の参加について：事前申し込みとさせていただきます。

◎ 最終案内：セミナー開催1週間前頃に、申し込み結果と最終案内を送信しますので、未着の場合は、上記、申込先までご連絡下さい。

◎ 認定単位について

本研修会は、日病薬病院薬学認定薬剤師の認定単位の申請予定です。

[講演1：V-3 0.5 単位 講演2、3、4：合計 V-2 2単位]

単位の種別・単位数については、変更になることがありますのでご了承下さい。

◎ 各講演の内容への質問や栄養に関して、事前の質問を受け付けます。
参加申込書の質問欄に記入し、お送りください。

プログラム

12:30~12:35 開会式

12:35~12:55 情報提供 『イノラス配合経腸栄養液』 株式会社 大塚製薬工場

12:55~13:40 講演1 『もしも病院の若手薬剤師が高齢者栄養を学んだら』

滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤師/管理栄養士 神谷 貴樹 先生

13:40~14:25 講演2 『フレイル予防の食事療法(仮)』

京都桂病院 栄養科 科長 川手 由香 先生

14:25~14:40 休憩

14:40~15:25 講演3 『フレイルと心臓リハビリテーション』

～当院で取り組んでいるチーム介入について～』

独立行政法人市立大津市民病院 リハビリテーション部

理学療法士 心臓リハビリテーション指導士 槻本 康人 先生

15:25~16:55 講演4 『5大栄養素、しっかり投与されていますか？』

～からだに美味しい輸液づくり～(仮)

～誰もが安心して、いきいきと暮らし続けるために(仮)～

台東区立台東病院 薬剤室 薬剤師 鈴木 慶介 先生

16:55~17:00 閉会式

17:20~19:30 懇親会 ～楽しく交流を図りましょう！！～

セミナー 共催 (一社) 滋賀県病院薬剤師会 株式会社大塚製薬工場
懇親会 主催 (一社) 滋賀県病院薬剤師会

講演要旨

講演 1 『 もしも病院の若手薬剤師が高齢者栄養を学んだら 』

滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤師／管理栄養士

神谷 貴樹 先生

高齢者には生理的変化として、感覚機能、咀嚼・嚥下機能、消化・吸収機能、代謝機能の低下等がある。これらの特徴は、食事摂取量や活動度を低下させ、骨格量の減少や日常生活に支障を来し、悪循環をもたらす。また、高齢者における低栄養は、様々な疾患の悪化要因だけでなく、ポリファーマシーを助長する要因となりうるため、多くの薬剤師にとって対峙すべき課題である。今回は、若手薬剤師が知っておきたい高齢者栄養に関するポイントを薬剤師の視点でわかりやすく概説する。

講演 2 『 フレイル予防の食事療法(仮) 』

京都桂病院 栄養科 科長

川手 由香 先生

超高齢化社会における栄養の最も重要な課題として、後期高齢者の低栄養からくるサルコペニア・フレイルティを回避し、健康寿命延伸による介護予防が挙げられる。しかし、加齢にともなう生理的、社会的、経済的問題が高齢者の栄養状態に影響を与え、低栄養状態を招き、生活習慣病を有している場合はそのリスクがさらに上がる。そこで今回、高齢者のサルコペニア・フレイルを意識した食事療法について、生活習慣病を有する場合も含めて検討し考えたい。

講演 3 『 フレイルと心臓リハビリテーション

～当院で取り組んでいるチーム介入について～ 』

独立行政法人市立大津市民病院 リハビリテーション部

理学療法士 心臓リハビリテーション指導士

槻本 康人 先生

社会の高齢化に伴い、併存疾患や独居、老々介護など様々な問題を抱えた慢性心不全患者は増加傾向です。慢性心不全患者さんは、入退院を繰り返すことが多く、入院の度にフレイルが進行しQOLが低下します。フレイルのため、日常生活の低下や塩分制限、服薬管理がうまくいかず入退院を繰り返す方もおられます。多職種が患者さんの生活を支える心臓リハビリの重要性が増しています。今回、当院での慢性心不全患者さんに対する心臓リハビリ介入を紹介いたします。

講演 4 『 5大栄養素、しっかり投与されていますか？ 』

～ からだに美味しい輸液づくり ～(仮)

～ 誰もが安心して、いきいきと暮らし続けるために(仮) ～

台東区立台東病院 薬剤室

薬剤師

鈴木 慶介 先生

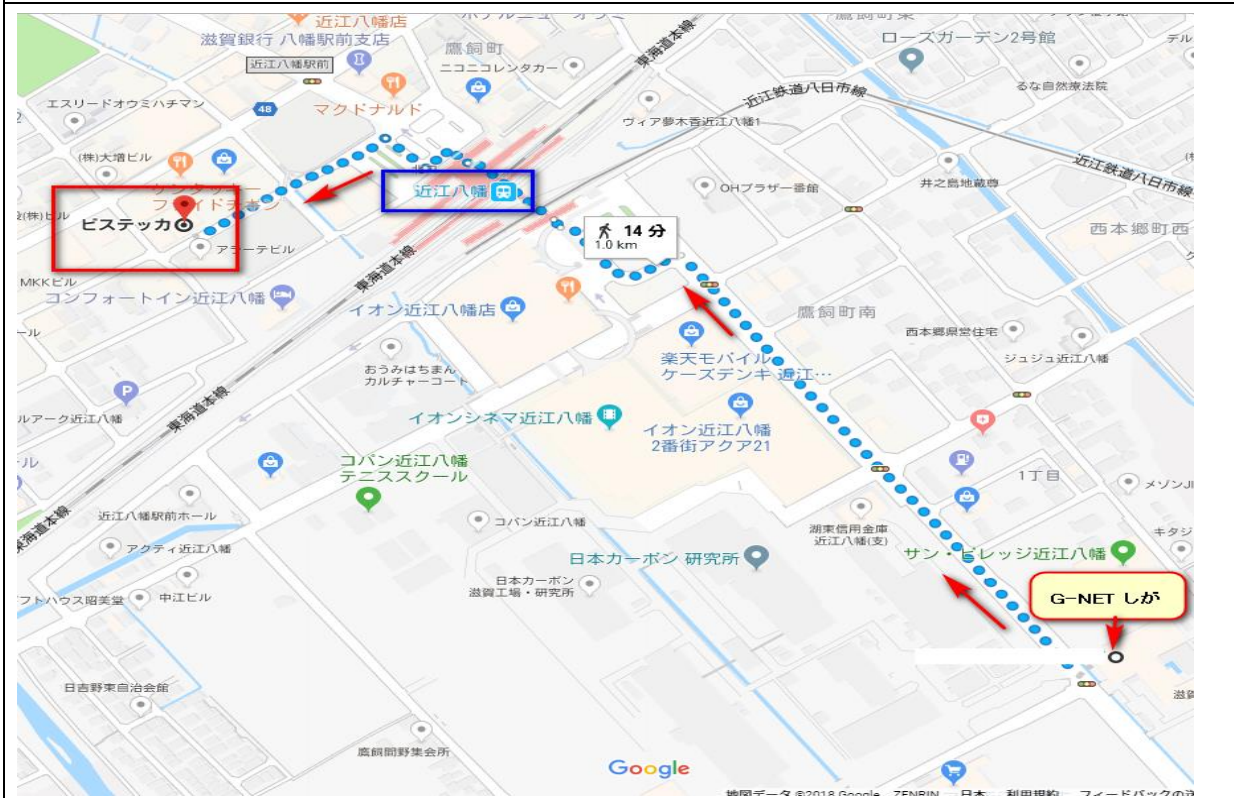
バランスの良い食事が必要なことは皆さん分かっています。風邪をひいている家族や友達がいたら、少しでも多くの栄養が摂れるように、そして食べやすく消化の良いものを、と考えるはずですが。では、ご飯や飲み物の代わりとしても使用する輸液に関して、栄養素としてはどのような性質を持っているか？この処方でも過不足ないか？と気になっても良いはずですが、皆さんはいかがでしょうか。このような視点を取り入れ、5大栄養素を投与することを目的として「TPN組成確認表」を作成しました。その取り組みについてご紹介いたします。

会場案内

セミナー会場（近江八幡駅 → G-NETしが）



懇親会会場（G-NETしが → ビステッカ）



以上